

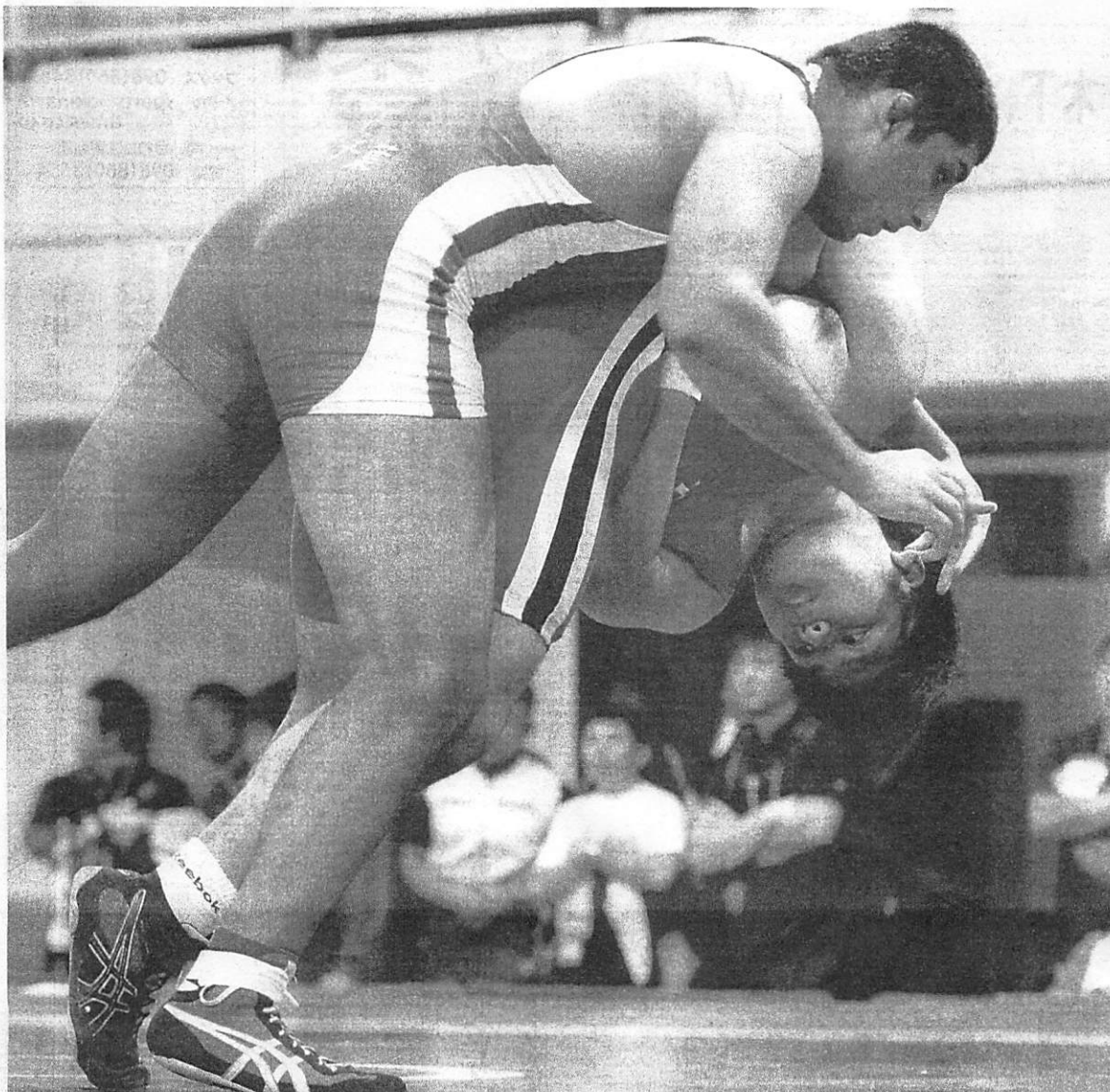
国体頑張る(相撲・レスリング)

快挙!! 仲里優力 国体優勝: 高校5冠

愛媛県で開催された国民体育大会に本校からレスリング部6名、相撲(崎山喜一)が出場した。それぞれが力を発揮し県代表として頑張ってくれた。特にレスリング少年男子グレコローマンスタイル120kg級に出場した仲里優力は決勝でテクニカルフォール勝ちを収め、優勝し、これで県勢発の高校主要大会5感を成し遂げた。本人の頑張りを称えたいし、屋比久先生の指導に敬意を表したい。

仲里5冠 鉄の心身

ヒーロー 全試合ポイント与えず



「有言実行」練習を自信に

衆議院選挙

衆院選が公示された。選挙年齢引き下げ後、初の総選挙だ。本校にも10代の有権者がいる。彼らが社会に目を向け、しっかりと1票を投じることができるように、指導をお願いしたい。我々教職員が選挙運動等が禁止されていることに留意しながらも、政治定期教養や沖縄の諸問題を考えさせ、候補者や政党の主張を考えさせ、未来を託す1票を棄権することなく、投じるように促して欲しい。

10代、未来託す1票

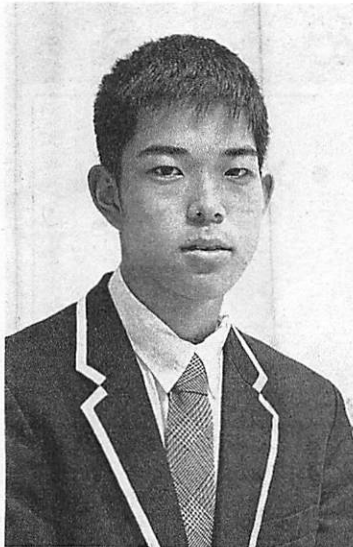
選挙権年齢引き下げ後初の総選挙

選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられてから初となる総選挙。政党の離合集散に話題が集まり選挙の意義や争点が見えにくく、10代の有権者は1票にどんな未来を託すのか。災害復興、障害者スポーツ、核廃絶運動に関わる若者は「それぞれの課題にも目を向けて」と声を上げる。

原発事故避難の高校生

復興支援きめ細かに

東京電力福島第1原発事(町)の3年佐藤勇樹さん故の影響が続く福島県。県(18)は「一言で復興と言っ立ふたば未来学園高(広野)でも、地域ごとに課題は違



自身の住む福島県広野町の現状を語る県立ふたば未来学園高の佐藤勇樹さん

う」と話し、きめ細かな支援策の必要性を訴える。事故後、富岡町の自宅から茨城県へ家族で避難。進学を機に広野町に移った。「地域のために何かしたかった」と、生徒でつくる復興支援グループの代表に就任。地元野菜の直売会などを企画し、避難生活で希薄になった住民同士の交流を取り戻そうとしている。広野町には現在、第1原発の廃炉などに携わる3千人近い作業員が住んでいる。地元住民との交流がほとんどなく、双方の間に溝

ができていくことが町の課題だと感じる。「県内全域を一緒にして復興を語るのではなく、各地域の具体的な対策を示して長期的に取り組んでほしい」。衆院選候補者に対する佐藤さんの願いだ。

